ヘゴ自生地北限

【所　在　地】出水郡長島町北方崎
【種　　別】県指定天然記念物
【指定年月日】昭和 28 年９月７日

ヘゴは熱帯・亜熱帯性のシダ植物の一種で，幹の高さが４ m にもなるヘゴ科の木生シダである。幹の表面には葉柄の跡が残り，不定根に覆われ，頂には長さ２ m に達する葉が笠状に開き，柄には中軸とともに刺が密生している。葉面は 鋸 状に分かれ，裏面の中脈近くに胞子のう群があって，胞子を散布して繁殖する。

ヘゴの分布はわが国では，伊豆諸島，小笠原諸島，紀伊半島南部から四国南西部，九州では宮崎県南部と熊本県南部，長崎県の五島列島，本県の本土のほか，甑島，南西諸島に見られ，低地で湿度の高い林中に生える。長島町北方崎の自生地は，県内にある国の指定地（肝属郡根占町，薩摩郡上甑村）よりさらに北に位置し，県の指定を受けた。

自生地での生育状況は，一時減少が見られたが，近年生育本数が回復し，現在約 30 本以上が自生している。樹陰に生長するが，上層木を伐採すると霜のため枯れる。